

パナマ日本人学校

派遣期間 2009年4月～2012年3月
苫小牧市立豊川小学校 教諭 中屋 里依子

1 パナマ共和国の概要



○正式国名

パナマ共和国 (Republic de Panama)

○独立

1903年 (1821年, 大コロンビアの一州としてスペインより独立後, 1903年に米国の支援を受けコロンビアより独立)

○言語

スペイン語

○面積

75,517 平方キロ (北海道よりやや小さい)

○地形

パナマは北米大陸と南米大陸の接点にあり, 東西に 600 キロ, 南北に 190 キロから狭い所では 50 キロの細長い形をした地峡国である。細長い国の真ん中を背骨のように山脈が走り, これと直角にパナマ運河が掘られている。

○人口

340 万人 (2010年 国勢調査)

○民族

多種多様である。決して多くはない人口にもかかわらず, 歴史的にパナマが受けてきた様々な文化の影響により民族構成は非常に多様である。基本的にパナマでは白人, 先住民, 黒人の混血によって人口を形成されている。その中にはクナ族, ノベ・ブグレ族, エンベラ・ウォウナーン族をはじめ, 土着の民族も存在している。さらに黒人系民族のうち, スペイン植民地時代に奴隷としてパナマにやって来たアフリカ人の子孫であるアフロ・コロンIAL系の人々はスペイン語を話し, パナマ運河建設工事の際ジャマイカ, トリニダード, マルティニークからやって来たアフロ・アンテュージャ系の人々は英語が流暢である。文化的なルーツとして, スペイン系, イタリア系, 中国系, アラブ系, ヒンズー系, ギリシャ系, コロンビア系などの人々も合わさり, パナマの人種の多様さは文化的な遺産のひとつとなっている。

パナマ人は, 気さくで表現豊かで陽気な人々と言われている。カリブ海文化の影響からお祭りは情熱的に祝われる。パナマ人は音楽, ダンス, スポーツ, カーニバルを愛し, 自由を崇拝する。国民のほとんどがカトリック教徒だが憲法により信教の自由が保障され, 他の宗教も尊重されている。パナマ人は, 何より人生をより楽しもうとしている国民である。



○首都

パナマ市 (Ciudad de panama)

【新市街】新市街は旧市街の東のはずれから始まる。アメリカナイズされた町並みに世界各国の銀行の支店や高級ホテル、ショッピングモールやレストランが軒を連ねている。殊にピアエスパーニャ、トランシスマカやトゥンバムエルトと呼ばれる通り沿いには大きく近代的な商店がたくさんある。また、パイティージャ、マルベージャやオバリオという地区は比較的治安も良く買い物も便利であるため、多くの日本人が居を構えている。その一角にパナマ日本人学校がある。



【旧市街】旧市街は運河の河口付近に位置し、運河と共に栄えた街である。また、大統領官邸や中央官庁が集まり、商店街や歩道には大勢の人があふれ、大変活気に満ちていて特有の雰囲気をかもし出している。しかし、街の裏側に一步入ると、衛生的にも治安的にも問題があることが感じ取れる。一時滞在の外国人がここに立ち入るのは危険が伴う。中心部は現在歴史保存地区（「カスコ・ビエホ」）として、また壊滅した都市遺跡は「パナマ・ビエホ遺跡」としてともに世界文化遺産登録されている。

○気候

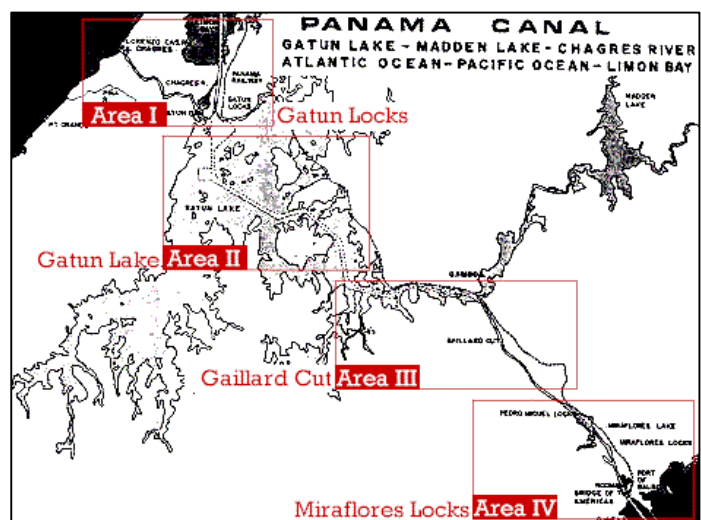
パナマは赤道近くにあるため、一年中高温多湿の亜熱帯気候である。(年平均気温約 29 度、平均湿度 75~80 パーセント) 1 月~4 月の短い乾季と 5 月~12 月の長い雨季に分かれる。乾季を(天気がよく海辺に遊びにいける季節なので)「夏」と呼び、雨季を(短時間だが毎日のように雨がふるので)「冬」と呼んでいる。パナマ市では 1 月~4 月の降水量が平均で 10.3mm しかなく、ほとんどの草木が枯れてしまう。

○教育

6 歳から 11 歳までの 6 年間の初等教育が無償の義務教育期間となり、その後の 6 年間の前期中等教育と後期中等教育を経て高等教育への道が開ける。国公立の教育機関は初等教育から高等教育までほぼ無償である。大学進学率は中米諸国の中では最も高い。

○パナマ運河

パナマ海峡を開削して太平洋とカリブ海を結ぶ閘門式運河で、全長約 80 km 最小幅 192m の運河である。最初はスエズ運河の建設者レセプスが 1880 年に建設を開始するが、マラリアの蔓延と技術的な問題で 1889 年に計画を放棄。その後アメリカとパナマが運河条約を結び、アメリカの手で 1904 年から 10 年の歳月をかけて 1914 年に完成した。この間にマラリア、黄熱病で亡くなった人の数は 2 万人を超えると言われている。



2 パナマ日本人学校

(1) 沿革

1974年(昭和49年)10月12日に「パナマ日本人学校」が多くの在留邦人の努力と期待のうちに誕生した。そして十周年を迎えた昭和59年9月26日長年の懸案であったステイタス問題が決着し、晴れて国際学校としてパナマ文部省より承認された。

1974年にスタートした時、教師は2名、児童生徒は9名だったが、それ以前にも補習校として1年間産みの苦しみを経験している。以来、大使館の指導助言のもと、パナマ日本人会の熱意に支えられて、今日まで37年間の歩みを辿ってきた。昭和50年8月には日本から衆議院議員団が視察に見え、52年3月に全日商工会議所永野会頭を初めとする中米視察団、平成13年の4月には常陸宮同妃両殿下が来校された。昭和55年5月校舎の増築、次いで6月には待望のプールが完工するなど、着実に学校としての地歩を固めて来た。また平成13年の6月から校舎の大規模改修工事が始まり、9月に完成した。



(2) 教育

学校経営の基調

日本国憲法や教育基本法の精神による教育関係法令及びパナマ共和国の国際校としての認可を踏まえた学校教育目標を推進する。

本校の2枚看板

- ◎ 日本の学習指導要領の実施
- ◎ パナマ共和国の国際学校としてのスペイン語等の学習の実施

豊かで調和のとれた人間性を持ち
国際感覚を身につけた 心身ともに健康な児童生徒を育てる

【教育理念】

「まず子ども在りき」の教育

学校経営方針

| | |
|-----------------|---|
| 1 まず子ども在りきの教育 | 子ども中心の教育計画を立て、子ども主体の活動の推進 (異年齢集団で知・徳・体調和のとれた児童生徒の育成) |
| 2 教員の創意・工夫の尊重 | 子どもと共に学ぶ姿勢をもった意欲的で子どもを生かす教員 (教育公務員として自覚と実践力を備えた力のある教員育成) |
| 3 パナマの特性を生かした教育 | 体験学習、国際理解教育、語学教育、安全教育等の推進 (日本と異なる環境で知識・技能を実生活に活用する力の育成) |
| 4 開かれた学校づくり | 安全に配慮した積極的な人的・物的・質的な学校開放の推進 (保護者・日本人会等のみんなで育む子どもたちの生きる力) |

(3) 児童・教職員数

昭和48年に9名でスタートした子どもの数は昭和58年には134名までになったが、経済情勢の変化から減少し、平成23年3月現在で小学部のみ12名。派遣職員は校長を含め5名と現地採用の講師・職員9名の計14名である。



(4) 特色ある教育

○ノーチャイム

児童生徒の自主的な取り組みを促すためにノーチャイムを導入している。

○校外学習

直接体験を重視し、年に延べ30回以上の校外学習を実施している。



○学芸会

小学部は各学年で学習発表を行う。小学部1～3年生はスペイン語による劇の発表もある。中学部は英語劇を行う。また、全校児童生徒による音楽発表もある。パナマ大学で日本語を専攻している学生も見学に来ている。



○水泳指導

年間を通して週1時間の水泳学習を実施している。また、その成果を発表する場（水泳記録会水泳大会）を年2回設けている

○外国語学習（スペイン語・英会話）

週1時間の英会話と週2時間のスペイン語の学習を行っている。

①英会話では、小学部を1・2・3年と4・5・6年の2クラスに分けて学習している。どちらも現地人講師が指導している。

②スペイン語は、小学部1・2・3年，4・5・6年，中学部の3クラスに分け，それぞれをさらにレベルⅠ，レベルⅡに分けて，現地人講師による児童生徒にあった指導をしいる。また，年に2回校内スペイン語検定も行っている。

○交流学習

現地の学校2校と年間4回の交流を行っている。



(4) 安全対策

○児童生徒の登下校

登下校は、スクールバスの利用、もしくは保護者による学校までの送迎となっている。スクールバスは、各アパートの玄関から学校の玄関までの **door to door** 方式をとっている。

○避難訓練非常時に備え、安全な行動がとれるように、年4回の避難訓練を行っている。

第1回（4月） 地震・火災を想定した訓練

第2回（5月） バス利用時の非常事態を想定した訓練・保護者による緊急引き取り訓練

第3回（8月） 火災を想定した訓練

第4回（2月） 暴徒乱入を想定した訓練



3 生活全般

(1) 食料品

水道水をそのまま飲むことができる。中南米ではパナマだけである。これは運河着工時にアメリカが徹底的に行った衛生対策の「大いなる遺産」だ。日用品や食料品は市内にたくさんあるメルカド（マーケット）で購入する。品揃えも豊富で日本のスーパーと似た雰囲気である。物価はここ数年で急激に上がっている。



(2) 住居

パナマ市内の在留邦人の殆どは居住性や防犯上から高層アパートに住んでいる。アパートといっても日本とは造りが異なる。例えば床は石タイルだし、部屋もこちらの方が大きい。部屋数はL. D. K.を除いた寝室数で数え、それぞれの部屋にトイレがつくのも特徴である。

(3) 医療

救急病院以外は予約がないと診てくれない。予約は電話です。日本語が通じる病院はほとんどなく、スペイン語・英語である。医療内容や技術の高い病院はあるが、診察料金は高い。歯医者に行くと普通に治療してもらおうと、300～500ドルくらいはかかる。数千ドルかかる場合もある。

(4) 交通

パナマは身近な鉄道・地下鉄等はなく、バスやタクシーは安全性に問題があるため、自動車への依存度が高いと言える。買い物からレジャーまで、ほぼ全てに自家用車が必要である。タクシーは稀に利用することがあり料金が安い、乗り心地は運転手による。ある程度の範囲は1～2ドルで行ける。市内では世界各国の車を見ることができるが、その多くが日本車である。車を買うことは安全を買うということである。



派遣に際しまして、たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。パナマでの貴重な経験は、これからしっかりと子ども達に還元していきたいと思えます。

